

採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進
課題名：なせばなる！SQリーダー育成プログラム
代表者名：結城 章夫
所属機関名：山形大学

コメント

機関の定めるアクションプランに沿って、絶えず変革・実行を続けることを目標に、将来を見据えたフロンティアスピリッツを持ち、また、高い社会的知性を駆使してチェンジマインドを持った第一級の研究能力をもつリーダーを育成するシステムの構築を目指すなど、求める人材像を明確にしており、制度改革の必要性を十分に考慮した提案である。機関独自のCOE(YU-COE)と連携して本プログラムをパイロットプログラムと位置づけ、機関の戦略的研究分野である有機デバイス工学を中核とした理工学研究科を「テニユア・トラック推進特区」に選定し、人事制度改革の先導的試行を通じて、全学展開の道筋を描いている。研究環境やメンターの配置などが好条件であり、テニユア職に到らなかった研究者へのセーフティネット、女性・外国人研究者への配慮などの研究活動とともに、社会的知性の能力開発コーチング、倫理教育、経営協議会への陪席など人間力育成への種々の工夫も評価される。実施期間終了後も常設する「テニユア・トラックプログラム推進会議」を中心に、全学展開に向けたプロセスをさらに具体化して、定着に向けて着実に実施していただきたい。

【採択条件】

提案の課題名において、世界第一級の研究者養成を目標に掲げていることが直接的に把握しにくく、また、「SQリーダー」の意味が不明瞭であるため、研究能力及び教育能力の向上を第一とし、その上で、社会的知性（SQ）を持つリーダーの養成であることを明確にした課題名とすること。